

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

クロスカントリースキー競技は、第1回（1924年）シャモニー・モンブランオリンピック大会から採用されている、歴史ある競技である。日本においても、北海道、新潟、長野等の豪雪地帯の小学校では体育の授業に採用されるなど、低年齢においての競技人口は多い。しかし、中学や高校になると競技を継続する選手が少なくなり、社会人クラブチームの数も少ないのが現状となっている。

近年日本においては冬季オリンピックのスキー競技においては、ジャンプ、フリースタイル、スノーボード、アルペン、複合（コンバインド）の各競技ではメダリストが輩出されている中、残念ながら歴史あるクロスカントリースキー競技においては未だにメダルを獲得できていないという現状がある。このことから、クロスカントリースキー競技の関係者にとっては、冬季オリンピックにおいて日本人が表彰台に上がることが長年の夢であり悲願となっている。

競技に対する日本人の適性の有無については、複合競技において後半種目であるクロスカントリースキーでも、日本人は体の大きな外国選手と立派に張り合える結果を出していること、また夏季オリンピックにおいて日本人が常に上位入賞を果たしているマラソン競技等の結果を鑑みても、外国人選手との間に肺機能等の身体的ギャップはもはや見られない。それであれば、雪上のマラソンとも例えられるクロスカントリースキーも、綿密な練習計画に基づき、正確なトレーニングを積み重ねること、またそういった活動に対する支援組織を構築することで、必ずやクロスカントリースキーの選手が表彰台に立つ日が来ると考えられる。

しかしながら、スキー及びスノーボードが関わる全種目を広く所管せねばならない全日本スキー連盟だけでは、なかなか個別の種目の強化に対して資金やトレーニング、教育等に力を注ぎきれない。全体を統括すべき全日本スキー連盟と協力体制を取りながら、指導現場に目を配ることのできる、機動力のある組織の存在が、これからの日本のクロスカントリースキー分野の未来を左右すると言っても、過言ではない現状がある。

2030年に開催される冬季オリンピックには、札幌が立候補している。このこともあって、我々はここを見据え、青少年の精神的・肉体的な向上及び技術力向上を図りながら、人間教育を行い、クロスカントリースキー競技において表彰台を目指す

選手の育成を行う。日本で行われる可能性のあるオリンピックにおいて、早期から可能性のある青少年を長期的計画に基づいて指導し、考えうる最高のスタッフと計画に基づいたトレーニングを行うことは、日本人が表彰台上に上り、国民全体の意気高揚につなげることへの第一歩であり、最短の道であると考えている。

また練習過程においては地域の青少年とも行動を共にし、優れた指導者の下、共同でのトレーニングを行うことで、青少年の技術力向上や心身の鍛錬を促すことを考えている。こういった要素を勘案し、日本のクロスカントリースキー競技の向上に繋がるのみならず、日本のスポーツ振興全体に寄与することを目的として、当法人の設立を企図したものである。

令和3年6月17日

特定非営利活動法人 3Y'sPro

設立代表者 住所又は居所 新潟県妙高市大字関川
2275 番地 48
氏 名 横山 久雄